

2025/5/27

第4回リユース促進に向けた懇談会



リユース促進の公共政策に おける5つのポイント ～ライフスタイルとビジネスを進化させる～

国立環境研究所

資源循環社会システム研究室室長

田崎 智宏

自己紹介: 田崎智宏 博士(学術)

国立環境研究所で24年間、学際的に研究
(資源循環社会システム研究室 室長)

- ・リサイクル等の**サーキュラーエコノミー**の分野
(物質フロー、指標、EPR、デポジット制度など)
- ・大きな視点での**サステナビリティ**の分野
(持続可能なライフスタイル、SDGs、統合アプローチ)

専門:モノに係る**システム分析と政策科学**(環境製品政策)

審議会等:中央環境審議会委員(家電リサイクル、廃掃法)

循環基本計画の指標や各種リサイクル、SDGs関連の委員、
衣類回収検討会・持続可能/循環ファッション検討会 座長 など
環境省リユース研究会の初回(2010年)からの古参者

業績:85+の原著論文、22の書籍、390+の口頭発表、12のデータベースを公表

(家電のリユース・リース、耐久消費財の使用年数、製品買替分析、衣類リユース、資源循環の価値向上など)



プロフィールの
ページへ

1. リユース政策はポリシーミックスが基本

- 需要促進策と供給促進策の両方
 - 市場介入アプローチであり硬直的でない誘導型アプローチを
- 需要促進策の展望
 - 製品保証 一つの姿は、新品とリユース品の同一保証(同期間保証)。例はEU
ただし、これは消費者保護の観点であり、リユース品の価格増となりがちで注意
⇔ プロシューマーはジャンク品OK
市場の各セグメントのニーズをふまえることが大切
 - 販売店認証 既に取り組みがある。認知度を高めることが課題
 - グリーン購入 ①特定品目(什器など)の調達におけるリユース品選択検討
②リユース品調達方針の策定を進めては。特に自治体に期待
 - 製品品質の表示 中古品の省エネ情報(次スライド)
- 供給促進策(リユース品供給)の展望
 - リユース可能品の回収システムの整備(後述)
 - 修理・販売網の整備: 修理&リユース・・・交換部品の価格(次スライド)

標準手続きへの
組込や義務化

リユース品の機能表示： フランス・ストラスブールの家電リサイクル施設にて



写真は田崎撮影

中古品の消費電力量が
計測されたうえで販売



リユースできるものを、
必要に応じて修理・調整
して販売

施設に多くの修理・交換
用部品が揃えてある

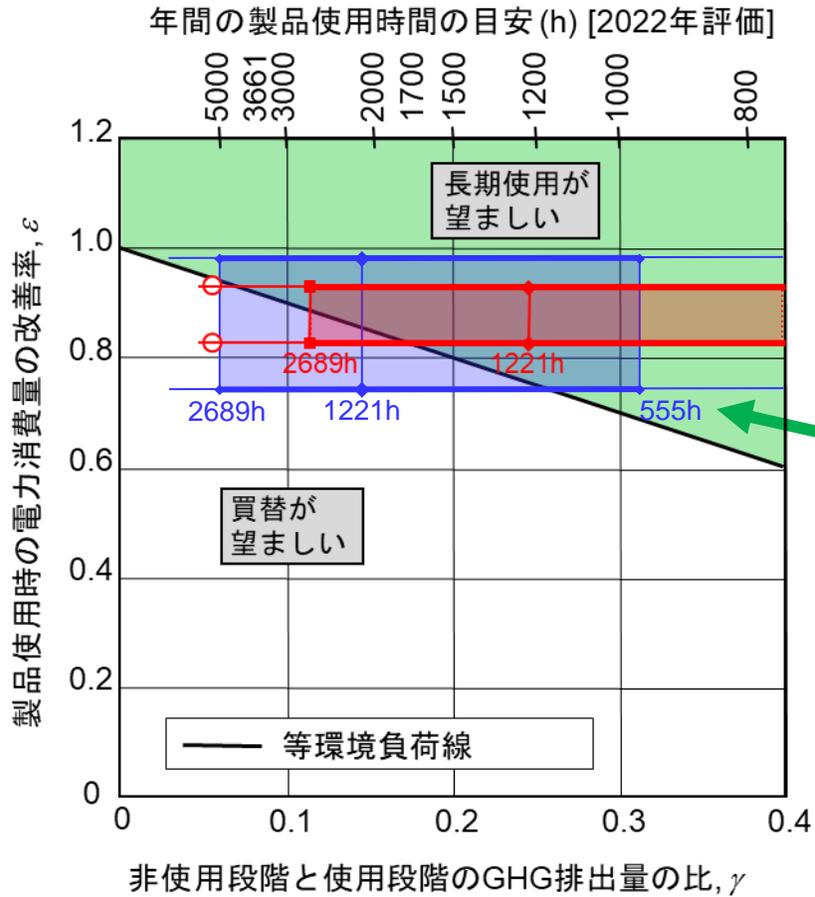
一般論として、メーカー
純正部品は**部品単価**が
高くなる傾向⇔競争が
働かない
(部品供給の課題)

• **リユース可能品の回収システムの整備** 地道に取組を広げていくこと。特効薬はない

方式	課題と対応の方向性	
リユースショップへ持ち込み	<ul style="list-style-type: none"> ・利便性に乏しいケース⇒地域のリユースボックスを増やす ・動機に乏しい⇒意味づけを変える(後述) 	⇒自治体の 分別ガイド にリユースの 仕方のガイド を組み込む(例、国際環境政策研究所 Link)
自治体収集物からのピックアップ	<ul style="list-style-type: none"> ・所有権⇒事前にリユースする可能性の周知 ・売れて使える品質にない 	
リユース収集業者による収集 (例、座間市:ごみステーションから)	<ul style="list-style-type: none"> ・既存収集業者との軋轢⇒役割分担の明確化 	
地域・自治体によるリユースプラットフォーム (例、掲示板、web掲示板)	<ul style="list-style-type: none"> ・閲覧のしにくさ⇒利便性を改善する ・自治体ごとに異なる⇒全国共通の入口をつくる(ごみ分別方法も含めて) 	
マンション内のリユースプラットフォーム (例、米国・各マンションにイントラページがある)	<ul style="list-style-type: none"> ・慣習がなく管理会社・団体が積極的でない ⇒基本サービスに(あたり前に)していく 	
利便性・信頼性を確保したイベント回収 (例、カシコシュ(参考:ウェブ記事への Link): マンションでの不要物排出&リユースのイベント :家の中をすっきりにしつつ、押し買い防止)	<ul style="list-style-type: none"> ・管理会社・団体が積極的でない ⇒同上 ・回収・引き渡しの場所がない ・各種のライフイベントを想定した回収が不十分で、リユースしようとしてもしにくい <p>⇒他の機会(転居、片付け、衣替え、遺品整理)も活用する</p>	

2. リユース・長期使用と脱炭素政策の トレードオフは緩和しつつある

エアコンの早期買替と長期使用のLCA評価



縦軸と横軸は、リユース・長期使用するか、早期買替するか
の条件を示す

縦軸: 下に行くほど、新しい製品の電力消費が少ない

横軸: 左に行くほど、たくさん使う

(図中の時間hが書いてある網掛け部分: 平均±標準偏差)
つまり、多くの方があてはまる領域

緑の領域であれば、リユース・長期使用した方が
GHG排出量が少ないことを意味する

青色部分が2008年評価、赤色部分が2022年評価
昔よりも今の方が、網掛け部分が緑の領域に収まっている

製品買替のこれまでの認識をアップデートさせる必要がある！

2. リユース・長期使用と脱炭素政策の トレードオフは緩和しつつある

下表の類型1の製品群だけが、リユース・長期使用と脱炭素政策とでのトレードオフがある

	類型1	類型2	類型3
	使用段階のGHG排出割合が大きい製品	非使用（製造・廃棄）段階のGHG排出割合が大きい製品	使用段階のGHG排出量がほぼゼロの製品
例	テレビ, エアコン, 冷蔵庫, 自動車	パソコン, 携帯電話	家具, 書籍
方向性	早期買替が望ましい条件あり. 長期使用と脱炭素政策の調整が必要	使用段階の累積GHG排出量が非使用段階のGHG排出量になるまでは長期使用が望ましい. この間は 脱炭素政策と矛盾せず	長期使用が望ましく, 脱炭素政策と矛盾せず

※表はスライド用に簡略化してある

3. リユースは製品や部品のリユースだけではない

- カナダのエドモントン州の事例： **素材のリユース**
公共が運営するリユースショップがまちなかにある
小学生の工作などに有用。子どもの貧困問題にも資する
素材のリサイクルよりも(原理的に)環境負荷が小さい



写真は田崎撮影



布、皮革、エアキャップ(ぷちぷち)、
アイスのバケツ型容器、牛乳パック、
コルク、羽、まつぼっくり、発泡ス
チロール、針金、じゅうたん・床材の
サンプル、壁紙、ジッパー、卵のプ
ラ容器、季節モノの飾り、ブリキの
缶、包装紙など

4. リユースはモノの循環だけではない

モノのつながりを起点とした、
人々や社会をつなぎあわせる手段という側面がある



<排出段階>

- 誰かに役立つなら、寄贈しよう
- まだ使ってくれるなら、ひと手間かけて、回収ボックスまで持っていこう

<再生段階>

- モノの再生を、民間事業としてではなく、社会福祉法人に依頼し、**障害者雇用**に活かそう

<再使用段階>

- **再生されたモノ**を寄贈して、社会に役立てよう
- 寄贈するだけでなく、**使い方の講座**も行おう

リユース等による社会・経済的な価値の高め方

Upcycle
[デザイン+意外性等による価値創出]

Downcycle

主要な新聞・雑誌記事データベースを用いて探索的に情報を収集し、約50の事例を分析

方向性として6類型を特定

1. アップサイクル製品加工型



使用済み消防服をカバンに

2. 素材再生型

[素材価値 > 廃棄]



使用済みTシャツを糸(ヤーン)へ

3. 自然還元物活用型

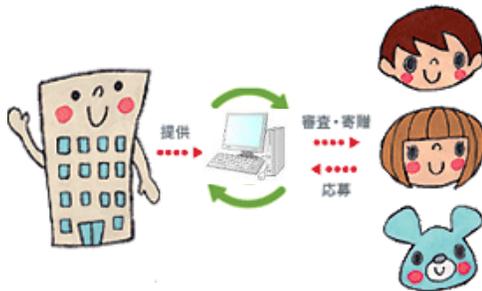
[技術開発と市場価値の発見]



アフリカのバナナ繊維 × 和紙技術から誕生したバナナペーパー

4. 社会貢献型

[モノをきっかけとした社会価値の創出]



支援企業

NPOなど

使用済みパソコンのリユース

(再生プロセスでの障害者雇用と市民団体への寄贈)

5. 地域活性化型

[地域ネットワークの強化]



鹿児島のエコスイーツ活動

(大学生と大学OB/OGおよび地域をつなぐ活動)

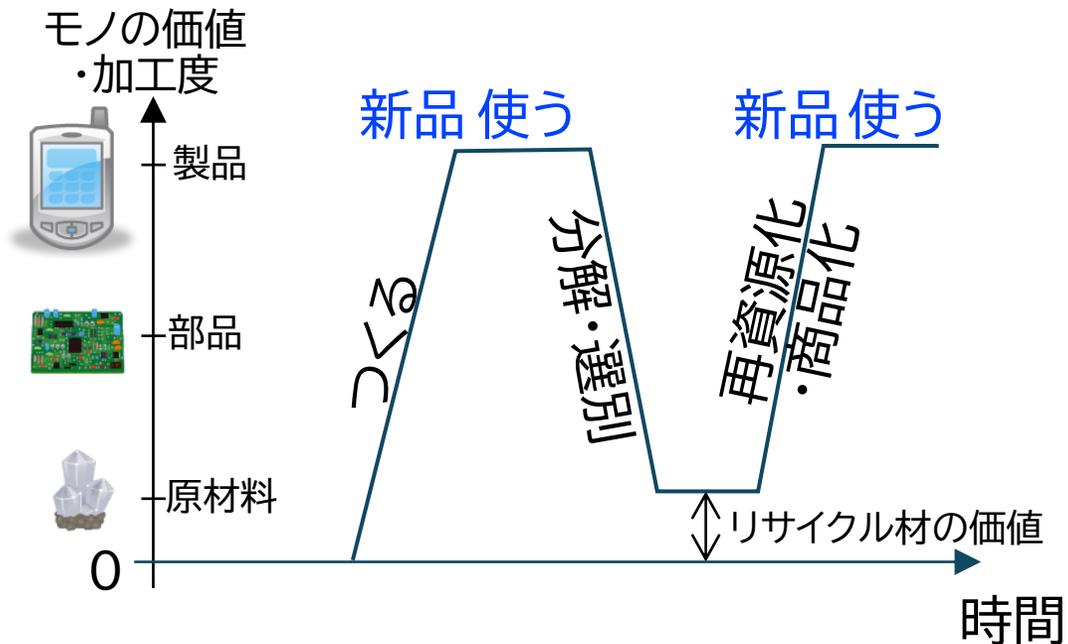
6. オンライン・マーケットプレイス活用型

利便性ととも、誰かに役立ててもらえる喜びなどを創出。衣類については、売れる楽しさがある(森・田崎・三ヶ尻 2019)

5. リユースには、リサイクルと違って、消費パターンを大きく変える潜在性がある

「バリューヒル」の考え*に基づくと

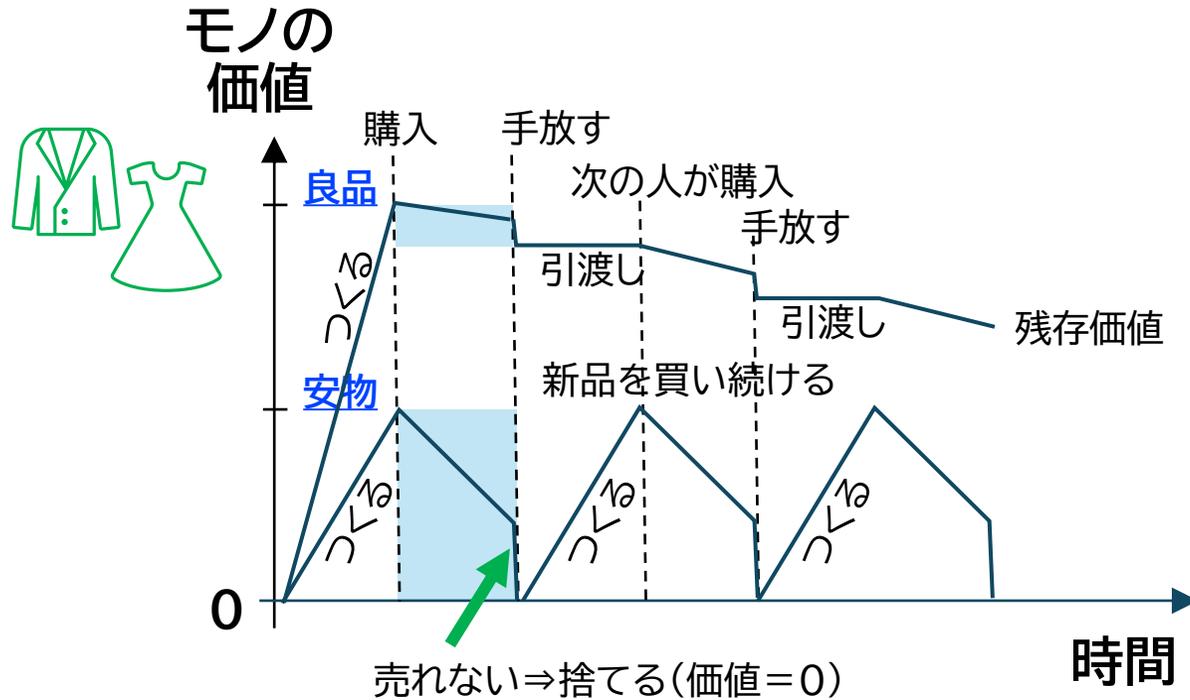
10階から2階まで下りて
また10階まで昇るようなことを
しているのが「通常のリサイクル」



リサイクルだけだと
サーキュラーになっても、
消費者の価値観や
ライフスタイルは
大きく変わらない

*Achterberg et al. (2016)
Master Circular Business
with the Value Hill.

良品と安物の価値の時間的変化との違い (リユースと廃棄に関連して)



青領域の高さが、購入者の正味の費用負担の
大きさを示す

リユースが日常化・主流化して
売ることが前提となると、

賢い消費者

高い**良質**なものを買って使い、
かつ**経済的にお得**
「**売ることが前提の買物**」

そうでない消費者

低い品質でより多い支出
「**安物買いの銭失い**」

まとめ～リユース促進のために

1. リユース政策は**ポリシーミックス**が基本
 - ・需要促進策(製品保証、品質表示、販売店認証、グリーン購入)
 - ・供給促進策(製品特性や生活イベントに合致した回収、あたり前化、プラットフォームへの共通の入口など)これにより、ライフスタイルとビジネスを連動させながら**進化**させていく
2. リユース・長期使用と製品**買替**の既存の**認識をアップデート**させる
3. **素材のリユース**も視野にいれる
4. モノのつながりを起点とした、**人々や社会をつなぎあわせる手段**という側面を活かす～**価値の意味づけ**をしなおすビジネスや取り組み～
5. リユースには、消費パターンを大きく変える潜在性がある
～**良品を複数の人で使い繋げていく**～